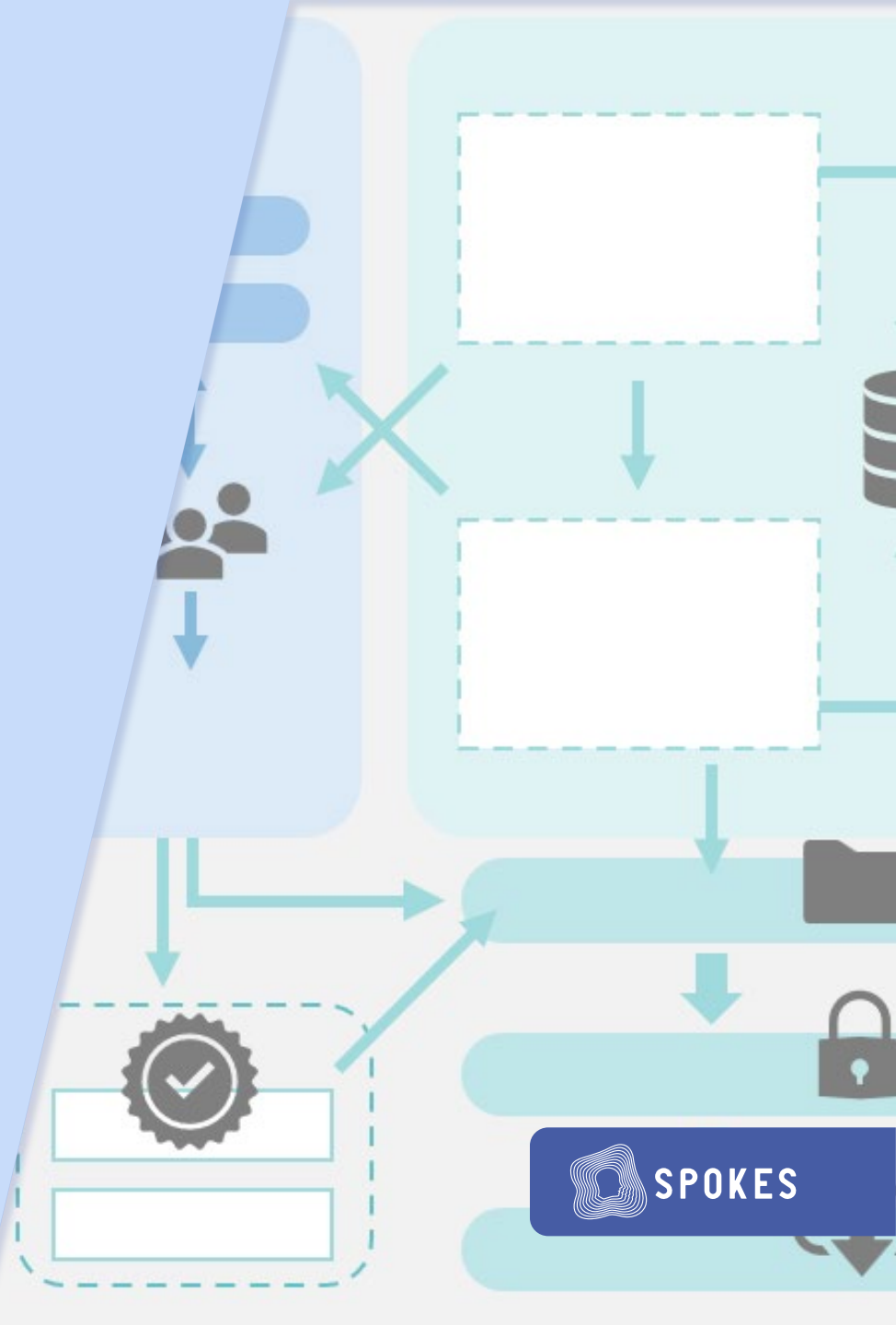


08

PowerPoint

官公庁 パンチ絵の 動画化ガイド

March 2026



ポンチ絵は便利だが「理解しにくい」

官公庁の政策資料では、情報を一枚に整理した「ポンチ絵」が多く使われます。

ポンチ絵は

- 構造を俯瞰できる
 - 要素の関係が整理できる
 - 政策全体をまとめられる
- という優れた資料形式です。

しかし一方で、

ポンチ絵の課題

- 情報量が多く理解に時間がかかる
 - 要素や矢印が多く視線が迷う
 - 説明がないと理解が難しい
- のような課題もあります。

そのため実際の政策説明では、
資料だけでなく口頭説明が必要になるケースが多くあります。



実際の動画はこちら

理解しにくい理由は「情報が同時に表示されること」

ポンチ絵が理解しにくい理由はシンプルです。
すべての情報が一度に表示されるためです。

図の中には

多くの要素

複雑な関係

複数の流れ

が同時に存在します。
その結果、

『どこから理解すればよいか分かりにくい』

という状態になりがちです。



実際の動画はこちら

官公庁ポンチ絵の動画化ガイド

ポンチ絵は「動画化」で理解しやすくなる

ポンチ絵を動画化すると、情報を時間軸で分解できます。
例えば、

ポンチ絵では

要素

関係

効果

が同時に表示されます。

動画では

背景

要素

仕組み

効果

のように、順番に説明できます。これにより

理解の順序が明確になる

視線が誘導される

全体像が理解しやすくなる

という効果があります。



実際の動画はこちら

ポンチ絵動画化のメリット

ポンチ絵を動画化すると、次のようなメリットがあります。

POINT
01

情報を段階的に説明できる

動画では
要素 → 関係 → 効果

POINT
02

ナレーションで補足できる

図だけでは説明しきれない

- 背景
- 目的
- 政策の意図

POINT
03

視線誘導ができる

アニメーションを使うことで

- 強調
- 出現順
- 拡大



実際の動画はこちら

官公庁ポンチ絵の動画化ガイド

例:スマートシティの説明

例えばスマートシティのポンチ絵では

データ連携

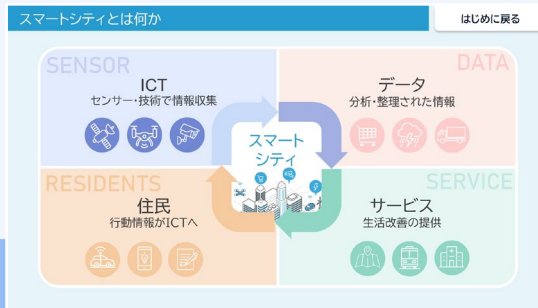
交通

医療

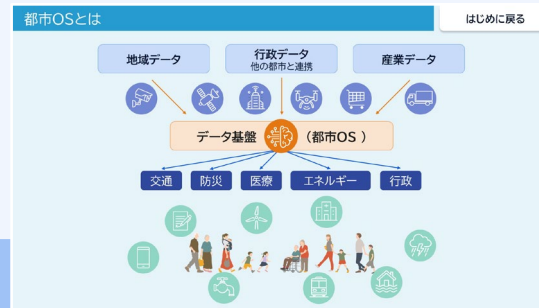
防災

行政サービス

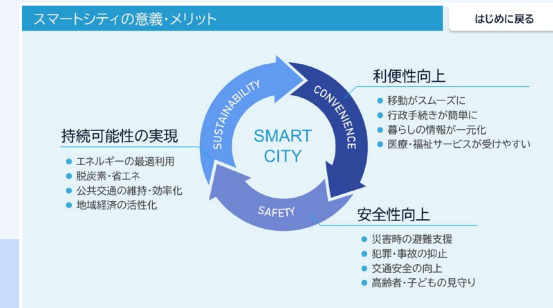
など多数の要素が含まれます。
しかし動画化すると



スマートシティとは



都市データの連携



意義・メリット

ストーリーとして理解できます。



実際の動画はこちら

ポンチ絵動画化の作り方

STEP1

ポンチ絵を「説明順」に分解

- ① 課題
- ② 解決手段
- ③ 仕組み
- ④ 効果

STEP2

ポンチ絵をそのまま使うのではなく

- 要素
 - 説明
- に分解します。

STEP3

アニメーションで関係性を表現

- 矢印
- 強調
- 出現順

STEP4

ナレーションで意味を補足

- 背景
 - 効果
 - 意図
- を説明します。



実際の動画はこちら

| パワーポイント動画化のメリット

既存資料を活用できる

制作コストが低い

修正が容易

短期間で制作可能

というメリットがあります。

＼ パワーポイントの資料を動画にするならSPOKESが簡単です ／



SPOKES

SPOKESのサービスサイトはこちら



実際の動画はこちら

活用シーン

ポンチ絵動画は次の用途に適しています。

官公庁

- 政策説明
- 住民説明
- 広報

自治体

- スマートシティ
- DX推進
- まちづくり

企業

- 事業説明
- サービス説明
- IR資料



実際の動画はこちら

まとめ

ポンチ絵は「整理された資料」ですが「伝わる資料」ではありません。
動画化することで、

- 理解速度向上
- 市民向け説明
- 広報活用

が可能になります。

[お役立ち資料の一覧に戻る](#)

